

「ビアガーデン2025」開催

7月19日(土)16:00～ 旧水沢信金羽田支店跡地

振興会だより

令和7年6月26日発行
編集・発行 振興会
羽田地区振興会

メニューは、ビール、ソフトドリンク、焼きそば、焼き鳥等をメインとしております。また、お子様向けに、駄菓子、籤引きを実施します。

羽田地区振興会は、羽田商工会と共催し、7月19日(土)に、旧水沢信金羽田支店で、「ビアガーデン2025」を開催します。

これは、振興会商工観光部会(及川貢基部長)が、今年度の推進目標「活気と賑わいのあるまち」に基づいて、企画・立案したものです。羽田のまちから賑わいが消えつつある中、何とかして、人を呼び込むことを狙って、その起爆剤として実施しようと準備を重ねております。

さらに、フラダンス、バンド演奏等を企画して、お待ちしております。梅雨時の夜、暑さをご家族の皆さんで吹き飛ばせる内容となっておりますので、是非足をお運びください。詳細は、全戸配付される「ビアガーデン2025」のチラシをご覧ください。

市議・行政との懇談会

☆未来羅針盤図☆

羽田地区自治協議会は、6月20日(金)18時から、地区センターで「市議・行政との懇談会」を開催し、及川春樹市議、佐藤訓久市未来羅針盤課上席主任から話がありました。

特に、佐藤訓久氏からは、水沢江刺駅周辺エリアプロジェクト事業について、その開発基本構想を、令和7年度内を目標に策定するという点と、策定のポイントは、①駅周辺市有地と南岩手交流プラザの有効活用

市へ地区要望10項目を提出

8 羽黒山、出羽神社に通じる

羽田地区振興会は、6月18日(水)に、「地区要望10項目」を市へ提出しました。以下、その10項目

- 1 未来羅針盤図に併せた羽田振興策
- 2 観光資源の活用によるまちの活性化対策
- 3 国道三九七号下を通る芦ヶ沢水路の改修
- 4 道路わきの水路のグレーチング蓋の設置
- 5 旧県道14号の道路嵩上げ
- 6 地区センター駐車場の舗装
- 7 市立久保公園の樹木伐採
- 9 市道の簡易舗装
- 9 空き家の強制代執行による撤去
- 10 国道旧三九七号の横断歩道のライン引き直し

なお、7月29日(火)には、市役所講堂において、市担当課と振興会代表3名が、提出した10項目について意見交換を行います。10月には、市側の回答が届く予定です。

羽田地区振興会プロジェクトチームメンバー募集!

上述の「市議・行政との懇談会」において、佐藤訓久上席主任から、水沢江刺駅周辺エリアプロジェクト事業について、その開発基本構想を策定するに当たり、第一に羽田地区からの意見、アイデア等を伺いたいとの意向が示されました。

これを受けて、羽田地区振興会として、開発基本構想策定に主体的に関わるため、プロジェクトチームを立ち上げることとし、そのメンバーを募集することにしました。

羽田のまちづくりに、水沢江刺駅周辺エリアは、絶対外せません。詳細は、チラシをお読みください。



②駅利用者の利便性の向上(駐車場、駅前広場など)、③地域住民、地元企業、来訪者への価値創出、以上3点が示されました。羽田地区として、策定に主体的に関わるため、アクションを起こすことが必要です。



大谷翔平マンホール

J R 水沢江刺駅西口(正面)

米大リーグ(MLB)が企画したドジャースの大谷翔平をたたえるマンホールふたが、水沢江刺駅西口に取付けられ、小野寺茂美振興会長が、その除幕式に臨みました。

行政が、このふたの設置に、水沢江刺駅を選定したことは、羽田のまちづくりに大きな示唆を与えるものとなりました。

左は、ふたのデザイン、下は、新聞記事の抜粋

胆 江 日 新 聞

2025年(令和7年)6月17日

故郷に大谷マンホール

「二刀流」をデザイン

水沢江刺駅西口

米大リーグ(MLB)で活躍する日本ゆかりの選手をたたえる特製マンホールふたの設置が16日に始まり、初日はドジャースの大谷翔平選手のふたが、出身地である奥州市のJ R 水沢江刺駅前に取り付けられた。関係者らが見守る中で除幕式が行われ、話題性の高い観光資源としても期待が寄せられた。

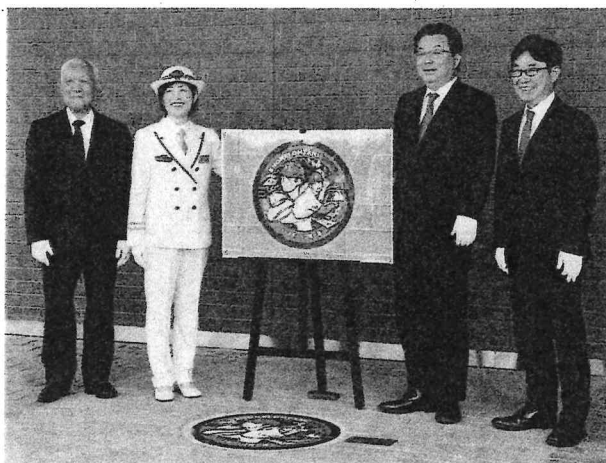
(岩渕歩)

最高峰の舞台で活躍の場を広げる日本出身または関わりの深い12選手をたたえ、出身地などにマンホールふたを設置する取り組みで、MLBが企画した。16日は、水沢出身の大谷選手、盛岡出身のエンゼルス・菊池雄星選手、陸前高田市出身のドジャース・佐々木朗希選手のふたが、それぞれの地に設置された。

奥州市では、大谷選手がピッチャーとバッターの姿で描かれた「二刀流」

デザインのふたが除幕された。ドジャースのチームカラーである青を基調に、表情の異なる3種類の顔や、高校時代に目標として掲げた「変化球」「人間性」などの言葉も盛り込まれている。

ふたには拡張現実(AR)機能も備えられ、隣に設置されたプレート上のQRコードとふたをスマートフォンで読み取ると、大谷選手の歩みを紹介する約15秒の動画が表示される。



全国に先駆けてお披露目されたオリジナルマンホールふたを囲む関係者—J R 水沢江刺駅西口

MLB

然、文化を楽しんでもらうきっかけになる」と述べた。同駅の菊地里子駅長は「駅が交流の場としてにぎわえはうれしい。遠く海外からの来訪者もあるかもしれない、楽しみだ」と話した。